

Ⅱ 県による環境基準点等の調査

II 環境基準点等の調査

1. 調査目的

この調査は、川の水質、川底、底生動物を調査することにより、それぞれの評価点（値）を求め、「水環境の快適さ」を評価しようとするものです。この調査では川の水環境を構成する最も基本的な要素である地形と背景（土地利用状況）を評価の基礎としています。この底生動物による川の水環境調査は、環境基準点等で平成2年度から毎年度実施しています。

2. 調査方法

1) 調査期間

平成23年10月14日～平成23年11月14日：底生動物採取など

平成23年11月15日～平成24年2月20日：分類（同定）、取りまとめ

2) 調査地点

調査地点は、図Ⅱ-1に示す県内河川の主要な環境基準点など35地点であり、各調査地点の環境基準の種類は表Ⅱ-1に示すとおりです。

3) 調査方法

「川の水環境・調査のてびき」に基づき実施しました。なお、底生動物の採取は、D型フレームネット（網目：約1.0mm）を用いて、水深約10～30cmの瀬においてキック・スイープ法により行いました。

4) 調査結果の評価

「川の水環境・調査のてびき」に従い、調査した35地点の評価基礎点、水質評価点、川底評価点及び底生動物による川の水環境評価値（以下、「生物評価値」とする。）をそれぞれ求めて調査結果を評価しました。

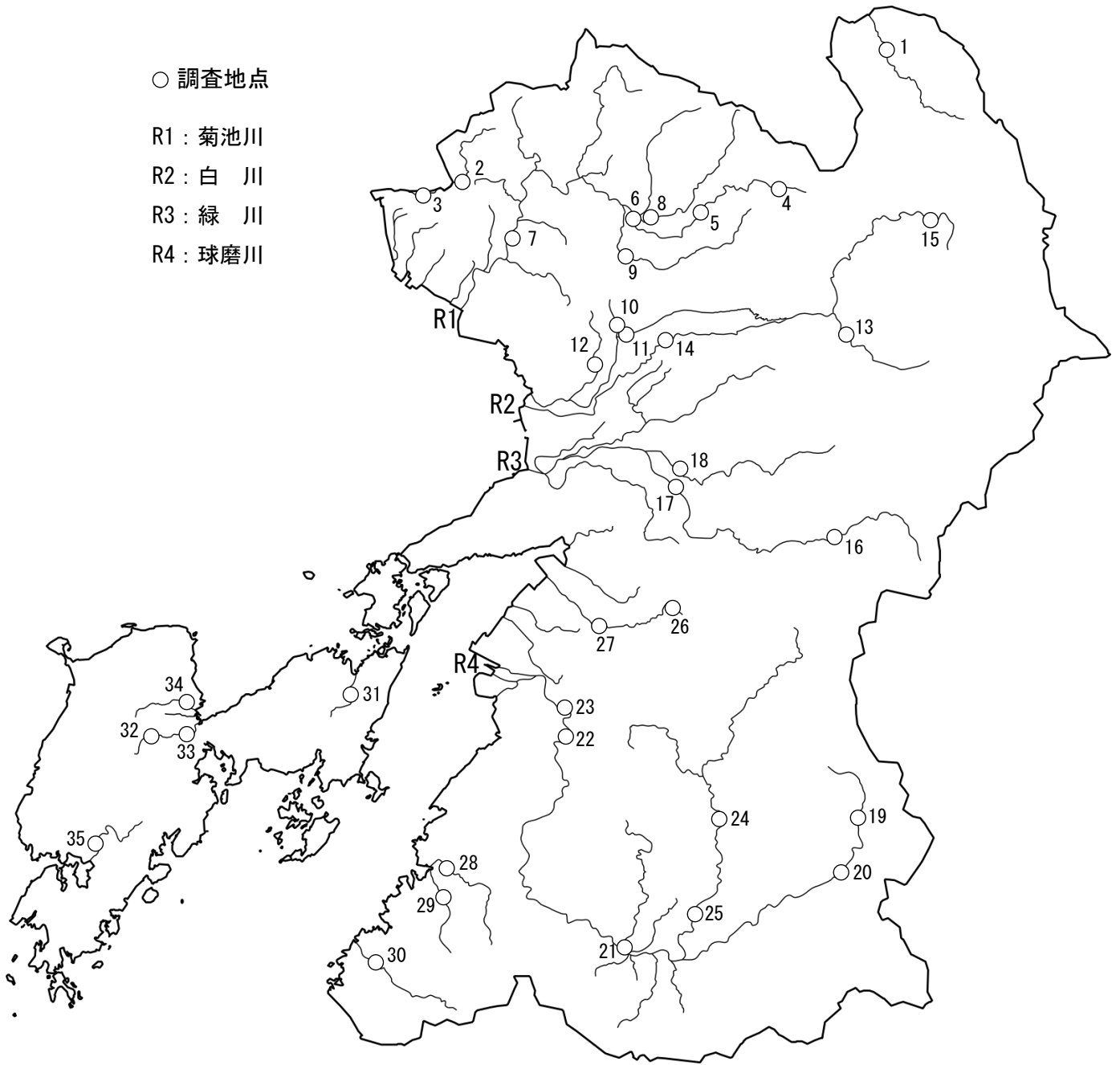
評価基礎点は「川の地形」と「川の背景（土地利用状況）」を、水質評価点はパックテストを用いた簡易測定によるpH及びCOD、透視度、水の色及びにおいを、川底評価点は川底の石の状態、大きさ、堆積物の種類、付着藻類の色及び量をそれぞれ数値化したものです。また、生物評価値は25種類の指標生物種による水環境評価値です。

3. 調査結果の概要

(1) 平成23年度の結果

調査した35地点の評価基礎点、水質評価点、川底評価点及び生物評価値をそれぞれ表Ⅱ-1に示します。また、各地点の調査記録用紙については○ページ以降に掲載しています。

評価基礎点は調査地点における「川の地形」及び「川の背景（土地利用状況）」を数値化したものであり、調査地点近辺における人為的な活動の度合いを表したものです。この評価基礎点と他の評価項目（水質・川底・生物の各評価点）を比較することによって、川の水環境を評価することが可能です。例えば、ある調査地点において評価基礎点と比較して生物評価値が良好だった場合、その調査地点における人為的活動の度合いに対して、底生動物の生息



○ 調査地点

R1 : 菊池川

R2 : 白川

R3 : 緑川

R4 : 球磨川

- | | | | |
|--------------|-----------------|----------------|-----------------|
| 1. 杖立 (筑後川) | 10. 堀川合流前 (坪井川) | 19. 古屋敷 (球磨川) | 28. 柗橋 (佐敷川) |
| 2. 杉本橋 (関川) | 11. 坪井川合流前 (掘川) | 20. 中鶴橋 (球磨川) | 29. 広瀬橋 (湯の浦川) |
| 3. 助丸橋 (関川) | 12. 山王橋 (井芹川) | 21. 西瀬橋 (球磨川) | 30. 長野橋 (水俣川) |
| 4. 念仏橋 (菊池川) | 13. 妙見橋 (白川) | 22. 坂本橋 (球磨川) | 31. 倉江橋 (教良木川) |
| 5. 木庭橋 (菊池川) | 14. 吉原橋 (白川) | 23. 横石 (球磨川) | 32. 海老宇土橋 (亀川) |
| 6. 中富 (菊池川) | 15. 小嵐山堰 (黒川) | 24. 藤田 (川辺川) | 33. 草積橋 (亀川) |
| 7. 白石 (菊池川) | 16. 津留橋 (緑川) | 25. 川辺大橋 (川辺川) | 34. 法泉寺橋 (広瀬川) |
| 8. 高田橋 (迫間川) | 17. 乙女橋 (緑川) | 26. 白岩戸 (氷川) | 35. 一町田橋 (一町田川) |
| 9. 芦原 (合志川) | 18. 五庵橋 (御船川) | 27. 立神峡 (氷川) | |

図Ⅱ-1 調査地点略図

表Ⅱ-1 環境基準点等の川の水環境調査結果

St.	調査河川名	調査地点名	環境基準	評価基礎点	水質評価点	川底評価点	生物評価値
1	筑後川	杖立	AA	1.5 II	1.0 I	1.0 I	= II
2	関川	杉本橋	A	2.5 IV	1.0 I	1.8 III	> III
3		助丸橋	A	2.5 IV	1.6 II	2.0 III	> III
4	菊池川	念仏橋	AA	1.0 I	1.0 I	1.0 I	< II
5		木庭橋	AA	2.0 III	1.0 I	1.4 II	> I
6		中富	A	2.5 IV	1.0 I	1.6 II	> II
7		白石堰	A	2.5 IV	1.4 II	2.2 III	> III
8	迫間川	高田橋	A	2.5 IV	1.0 I	2.0 III	> III
9	合志川	芦原橋	A	2.5 IV	1.0 I	2.0 III	> III
10	坪井川	堀川合流前	A	3.0 V	1.2 II	2.2 III	> III
11	堀川	坪井川合流前	D	3.0 V	1.4 II	2.2 III	> III
12	井芹川	山王橋	A	3.0 V	1.0 I	2.2 III	> III
13	白川	妙見橋	AA	2.0 III	1.0 I	1.2 II	> I
14		吉原橋	A	2.5 IV	1.0 I	1.6 II	> III
15	黒川	小嵐山堰	A	1.5 II	1.0 I	1.4 II	= II
16	緑川	津留橋	AA	1.0 I	1.0 I	1.0 I	= I
17		乙女橋	A	2.5 IV	1.0 I	1.4 II	> III
18	御船川	五庵橋	A	3.0 V	1.2 II	1.4 II	> III
19	球磨川	古屋敷	AA	1.0 I	1.0 I	1.0 I	= I
20		中鶴橋	A	2.5 IV	1.0 I	2.0 III	> III
21		西瀬橋	A	3.0 V	1.0 I	1.4 II	> III
22		坂本橋	A	1.5 II	1.0 I	1.2 II	< III
23		横石	A	2.0 III	1.0 I	2.2 III	> II
24	川辺川	藤田	AA	1.0 I	1.0 I	1.0 I	< II
25		川辺大橋	A	2.0 III	1.0 I	2.0 III	> II
26	氷川	白岩戸	A	1.0 I	1.0 I	1.4 II	= I
27		立神峡	A	1.0 I	1.0 I	1.0 I	< II
28	佐敷川	梶橋	A	2.5 IV	1.0 I	1.4 II	> III
29	湯浦川	広瀬橋	A	2.5 IV	1.0 I	1.4 II	> III
30	水俣川	長野橋	A	2.5 IV	1.0 I	1.2 II	> II
31	教良木川	倉江橋	A	1.5 II	1.2 II	2.0 III	< III
32	亀川	海老宇土橋	A	1.5 II	1.0 I	1.6 II	< III
33		草積橋	A	2.0 III	1.4 II	2.0 III	> II
34	広瀬川	法泉寺橋	A	3.0 V	1.4 II	2.0 III	> III
35	一町田川	一町田橋	A	1.5 II	1.0 I	2.0 III	< III

注) > : 評価基礎点よりも良好な評価値
 = : 評価基礎点と同等の評価値

< : 評価基礎点よりも劣る評価値

[評価値] I : 快適な水環境 II : 親しめる水環境 III : 不快を感じない水環境
 IV : 多少不快な水環境 V : 不快な水環境

環境が良好であったといえます。ただし、表Ⅱ－２に示されるように、評価基礎点と環境基準の類型は必ずしも一致しません。これは、環境基準の類型あてはめが目標値として維持することが望ましい水質の基準として設定されていることに対して、本調査における評価基礎点ではあくまで底生動物の生息環境に対する指標として設定されているためです。今回の調査において評価基礎点をまとめると、「Ⅰ：快適な水環境」が維持されるべき地点は 6 地点、「Ⅱ：親しめる水環境」が維持されるべき地点は 6 地点、「Ⅲ：不快を感じない水環境」が維持されるべき地点は 5 地点、「Ⅳ：多少不快な水環境」になりうる地点は 12 地点、「Ⅴ：不快な水環境」になりうる地点は 6 地点と判断できました。

表. Ⅱ－２ 水環境の評価基礎点と環境基準の類型との比較

水環境の評価基礎点	環境基準（昭和46年環境庁告示第59号）				
	AA類型	A類型	B類型	C類型	D類型
Ⅰ：快適な水環境	6地点	4地点	2地点		
Ⅱ：親しめる水環境	6地点	1地点	5地点		
Ⅲ：不快を感じない水環境	5地点	2地点	3地点		
Ⅳ：多少不快な水環境	12地点		12地点		
Ⅴ：不快な水環境	6地点		5地点		1地点
	計	7地点	27地点		1地点

各調査地点の評価基礎点による評価と水質評価点、川底評価点及び生物評価値との関係を表Ⅱ－３に示します。

水質評価点は「Ⅰ：快適な水環境」と判断した地点が 27 地点あり、評価基礎点と比較して良好な結果が得られました。

川底評価点は付着藻類の状況を勘案した評価であり、底生動物の出現種や群集構造に影響を与える主要な要素です。川底評価点は大多数の調査地点において「Ⅱ：親しめる水環境」（14 地点）または「Ⅲ：不快を感じない水環境」（15 地点）と判断されました。評価基礎点において「Ⅱ：親しめる水環境」（6 地点）が維持されるべきとされた地点について、2 地点で川底評価点が評価基礎点より劣っているという結果になりました。その一方で、評価基礎点により「Ⅳ：多少不快な水環境」（12 地点）、「Ⅴ：不快な水環境」（6 地点）と判断された地点については、すべての地点で川底評価点が評価基礎点よりも良好であるという結果でした。

生物評価値により、「Ⅰ：快適な水環境」に相当すると判断されたのは 5 地点、「Ⅱ：親しめる水環境」は 10 地点、「Ⅲ：不快を感じない水環境」は 20 地点、また「Ⅳ：多少不快な水環境」、「Ⅴ：不快な水環境」はともに 0 地点でした。

評価基礎点において「Ⅰ：快適な水環境」とされた 6 地点のうち 3 地点、また「Ⅱ：親しめる水環境」とされた 6 地点のうち 4 地点で生物評価値が評価基礎点より悪い結果となりました。特に生物評価値が「Ⅰ：快適な水環境」とされた地点は昨年度と比較して 9 地点から 5 地点に減少していました。その原因は不明であり、今年度に限った傾向である可能性もある

表. II-3 評価基礎点に対する水質評価点、川底評価点及び生物評価値

評価基礎点	地点数	水質評価点					川底評価点					生物評価値				
		I	II	III	IV	V	I	II	III	IV	V	I	II	III	IV	V
I: 快適な水環境	6	6	0				5	1				3	3			
II: 親しめる水環境	6	5	1				1	3	2				2	4		
III: 不快を感じない水環境	5	4	1					2	3			2	3			
IV: 多少不快な水環境	12	10	2					6	6				2	10		
V: 不快な水環境	6	2	4					2	4					6		
計	35	27	8	0	0	0	6	14	15	0	0	5	10	20	0	0

[評価値] I: 快適な水環境

II: 親しめる水環境

III: 不快を感じない水環境

IV: 多少不快な水環境

V: 不快な水環境

ので、今後継続的にモニタリングを実施する必要があります。

今年度の調査で生物評価値から見て最も良好な水環境「I: 快適な水環境」と判断できたのは木庭橋（菊池川）、妙見橋（白川）、津留橋（緑川）、古屋敷（球磨川）、白岩戸（氷川）の5地点でした。「I: 快適な水環境」以外の地点でも杖立（筑後川）、念仏橋（菊池川）などで「I: 快適な水環境」に属する指標生物の出現が多くみられています。一方、合志川の芦原（A類型）については、水質環境項目を満足するものの、「I: 快適な水環境」に属する指標生物が平成6年から平成23年まで18年連続でみられませんでした。

今年度の調査では、「I: 快適な水環境」に属する指標生物が占める割合は10.5%、「II: 親しめる水環境」に属する指標生物が占める割合は24.0%、「III: 不快を感じない水環境」に属する指標生物は64.0%であり、ほぼ例年通りでした。また、指標生物のうち、コカゲロウ類（29.9%）、コガタシマトビケラ（18.9%）、ユスリカ類（白・緑）（13.7%）、タニガワカゲロウ類（11.2%）が高い出現割合を示しました。これらの4種類はいずれも30以上の地点で出現し、この4種類で全体の7割超を占めていました。コカゲロウ類は16地点、コガタシマトビケラは6地点、ユスリカ類（白・緑）は4地点、タニガワカゲロウ類は5地点で優占種となりました。なお、「V: 不快な水環境」に属する指標生物はイトミミズが4地点、サカマキガイが1地点で確認されました。

表Ⅱ-4 水環境指標生物の出現状況

地点番号 No. 指標生物名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
1 カワゲラ類	12	7	13	9	22	4	1	27						5		6	15	10	4	
2 ナガレトビケラ類	6	5	24	3	4	3	1						4	2		1	3	2	1	
3 ヒゲナガカワトビケラ類	19			11	20	1							15	6	15	1	5		3	
4 チラカゲロウ																1				
5 携巢性トビケラ類	1		8	1	18	1	1						2		2				16	
6 ニッポンヨコエビ・サワガニ	10			1	21								4	1	4				4	
7 ヒラタカゲロウ類	65			48	19	6		6					27		8	7	3	11	36	
8 ウズムシ類(プラナリア)	1				2	16							1	3	1	2				
9 ヘビトンボ類	1			2											1	3	1		2	
10 マダラカゲロウ類	6		2	6	13	13	26	7					25	1	52	2	16	3	1	
11 タニガワカゲロウ類	127	6	41	15	69	6	7	9	2				4	4	14	15	2	5	12	
12 ブユ類・ガガンボ類	18	19	6	6	127	118	15	26	25	5			7	17	5	148	2	4	4	27
13 カワニナ			2	1												1				
14 ヒラタドロムシ類	7	10	24	1	1	13		12		2									1	
15 コカゲロウ類	108	23	31	210	142	212	63	118	320	7	48	37	282	11	499	34	37	23	9	
16 コガタシマトビケラ	35	103	64	2	14	284	161	68	64	13	21	208	182	12	233	3	8	1	16	
17 ユスリカ類(白・緑)	52		129	17	48	54	59	57	187	144	25	50	99	9	126	4	1	4		
18 貝類		6					2			5										
19 サホコカゲロウ						1				1										
20 ミズムシ(等脚目)										1	6	1		1	42					
21 ヒル類			1										4							
22 サカマキガイ											1									
23 イトミズ類											1	1			3					
24 セスジユスリカ(赤)																				
25 ホシチョウバエ																				
出現指標種数	15	8	12	15	14	14	10	9	5	8	6	8	12	12	15	12	11	10	12	
個体数	468	179	345	333	520	732	336	330	598	178	102	309	664	58	1150	79	95	64	131	
生物評価値	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	
多様性指数 (H')	2.96	2.07	2.71	2.01	2.99	2.30	2.12	2.56	1.57	1.15	1.85	1.46	2.26	3.13	2.41	2.66	2.67	2.72	2.94	

生物評価値 Ⅰ:快適な水環境、Ⅱ:親しめる水環境、Ⅲ:不快を感じない水環境、Ⅳ:多少不快な水環境、Ⅴ:不快な水環境

多様性指数 $H' = -\sum (ni/N) \log_2 (ni/N)$ (ni:個々の指標種の個体数 N:総個体数)

表Ⅱ-4 水環境指標生物の出現状況

No. 指標生物名	地点番号																計	割合 (%)
	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35		
1 カワゲラ類		3	1	5	6	2	3	1	4	1	4		1	1			167	1.8
2 ナガレトビケラ類		1			1		2					2					65	0.7
3 ヒゲナガカワトビケラ類		24			2	1	9				7						139	1.5
4 チラカゲロウ																	1	0.0
5 携巢性トビケラ類																	50	0.5
6 ニッポンヨコエビ・サワガニ							1										46	0.5
7 ヒラタカゲロウ類		13	16		22	2	19	51	7	1	133			2			502	5.5
8 ウズムシ類(プラナリア)								2		1				2			31	0.3
9 ヘビトンボ類					1		1	1									13	0.1
10 マダラカゲロウ類		26	8			5	7	13		1	1				12		246	2.7
11 タニガワカゲロウ類		11	9	42	29	10	10	155	8	21	119	3	149	102	24	3	1033	11.2
12 ブユ類・ガガンボ類		2	3	1	15	217	19	40			11			1			888	9.7
13 カワニナ																	4	0.0
14 ヒラタドロムシ類		1	1	1		1	1	1	1		8	3	7	11	20	1	128	1.4
15 コカゲロウ類		44	54	5	69	17	86	53	15	22	17	5	51	36	16	48	2752	29.9
16 コガタシマトビケラ	4	26	28		14	6	9	8		9	5	1	2	35	56	43	1738	18.9
17 ユスリカ類(白・緑)	16	14	25	32	2	1		20	16	4	3	2	1	7	10	45	1263	13.7
18 貝類										6		21		1		23	64	0.7
19 サホコカゲロウ								3			1						6	0.1
20 ミズムシ(等脚目)															1		52	0.6
21 ヒル類																	5	0.1
22 サカマキガイ																	1	0.0
23 イトミズ類									1					1			7	0.1
24 セスジユスリカ(赤)																	0	0.0
25 ホシチョウバエ																	0	0.0
出現指標種数	2	11	9	6	10	10	12	12	7	9	11	7	6	11	7	6	23	
個体数	20	165	145	86	161	262	167	348	52	66	309	37	211	199	139	163	9201	100.0
生物評価値	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ		
多様性指数 (H')	0.72	2.88	2.47	1.66	2.41	1.09	2.41	2.41	2.35	2.37	2.01	2.04	1.15	2.07	2.36	2.09		

生物評価値 I:快適な水環境、II:親しめる水環境、III:不快を感じない水環境、IV:多少不快な水環境、V:不快な水環境

多様性指数 $H' = -\sum (ni/N) \log_2 (ni/N)$ (ni:個々の指標種の個体数 N:総個体数)

(2) 経年変化

平成 2 年度から平成 23 年度の 22 年間の調査結果の経年変化を表 II - 5 に示しました。35 地点のうち、33 地点は平成 2 年度の調査開始以降、ほぼ同じ地点で調査を継続しており、この 33 地点の生物評価値平均値は、平成 2 年度の「2.5」に対し、平成 23 年度は「2.2」と改善が見られており、生物から見た県内河川の水環境は改善傾向にあることが分かりました。

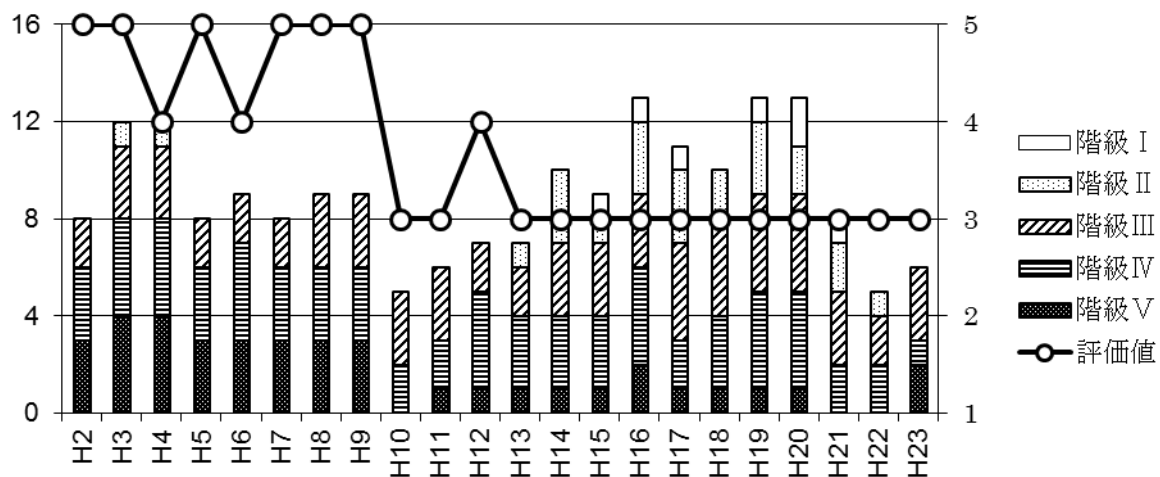
(経年変化の傾きから算出したもので、平成 2 年度と 23 年度の単純な比較ではない。以下、同様。)。また、「V：不快な水環境」を示した地点は平成 9 年度、「IV：多少不快な水環境」を示した地点は平成 14 年度を最後に確認されていないことから生物からみた水環境が改善傾向にあることが伺えます。

地点別でみると、22 年間で 1 階級以上評価が良くなった地点は、坪井川合流前(堀川)、妙見橋(白川)、長野橋(水俣川)の 3 地点でした。逆に 1 階級以上評価が悪くなった地点はありませんでした。例として、坪井川合流前(堀川)の指標種数、生物評価値及び BOD の推移を図 II - 2 に示しました。坪井川合流前(堀川)では、平成 2 年度の調査開始以来、セスジユスリカが優占種として出現しており生物評価値も「V：不快な水環境」の状態でしたが、下水道の普及に伴う水質(BOD 等)の改善から、平成 10 年度からはコカゲロウ類及びユスリカ類(白・緑)が優占種となり、「III：不快を感じない水環境」を中心に推移しています。また、妙見橋(白川)では、平成 2 年度～平成 6 年度まで生物評価値が「III：不快を感じない水環境」でしたが、それ以降は生物評価値が「I：快適な水環境」または「II：親しめる水環境」が継続するなど改善傾向が見られています。平成 8 年度頃まで AA 類型の基準(BOD1mg/L)を超過する年も度々ありましたが、それ以降は水質が改善し環境基準を達成している状況にあることも影響していると考えられます。

また、非常に良好な水環境の地点として、古屋敷(球磨川)が平成 2 年度の調査開始以来 22 年連続して生物評価値が「I：快適な水環境」の状態を継続しているほか、念仏橋(菊池川)、津留橋(緑川)、藤田(川辺川)、白岩戸(氷川)の 4 地点についても 1～3 年を除くほぼ全ての年で生物評価値「I：快適な水環境」の状態を保っています(これら 5 地点は全て環境基準 AA 類型に指定。)

環境基準 A 類型に指定されている杉本橋(関川)、助丸橋(関川)、堀川合流前(坪井川)、栴橋(佐敷川)、法泉寺橋(広瀬川)、一町田橋(一町田川)の 6 地点では、水質(BOD)環境基準は達成しているものの、生物評価値でみると 1～3 年を除くほぼ全ての年で「III：不快な水環境」の状態が続いており、生物相の改善が見られていない状態です。一方、数年前まで上記地点と同様の状態であった中富(菊池川)、白石(菊池川)、高田橋(迫間川)、吉原橋(白川)の 4 地点では、平成 17 年度頃から、生物評価値が「II：親しめる水環境」と評価される年が少しずつ増加しているという変化も確認されています。

近年、河川の水質指標である「BOD」はほとんどの地点で改善し、地点間での差が見られなくなっています。そのため、広い意味での「水環境」を把握する水生生物調査を水質調査と併せて継続し調査結果を蓄積していくことは、今後益々重要になると考えられます。



図Ⅱ－２ No.11 坪井川合流前（堀川）における指標種数、水環境評価値の推移

(参考)

次の2地点は調査継続が困難とし、途中で地点を変更しています。

No.15 黒川 大正橋 (H2～H13) → 小嵐山堰 (H14～) ※水深増のため調査不能

No.27 氷川 島地 (H2～H7) → 立神峡 (H8～) ※流量減のため調査不能

表Ⅱ－５ 環境基準点等における川の水環境調査結果の経年変化

St.	調査河川名	調査地点名	環境基準	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	平均値	傾き
1	筑後川	杖立	AA	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	1.5	-0.02
2	関川	杉本橋	A	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	3.0	-0.01
3		助丸橋	A	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	3.0	0.00
4	菊池川	念仏橋	AA	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	1.0	0.01
5		木庭橋	AA	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	1.5	0.00
6		中富	A	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	2.7	-0.03
7		白石	A	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	2.8	-0.03
8	迫間川	高田橋	A	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	2.8	-0.03
9	合志川	芦原	A	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	3.0	0.00
10	坪井川	堀川合流前	A	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	3.1	-0.01
11	堀川	坪井川合流前	D	V	V	Ⅳ	V	Ⅳ	V	V	V	Ⅲ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	3.7	-0.11
12	井芹川	山王橋	A	Ⅳ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	3.2	-0.03
13	白川	妙見橋	AA	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	1.8	-0.10
14		吉原橋	A	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	2.8	-0.03
15	黒川	小嵐山堰	A	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	—	Ⅲ	—	Ⅲ	—	—	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	2.2	-0.04
16	緑川	津留橋	AA	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	1.0	0.00
17		乙女橋	A	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	1.9	-0.02
18	御船川	五庵橋	A	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	2.2	0.01
19	球磨川	古屋敷	AA	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	1.0	0.00
20		中鶴橋	A	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	2.2	0.01
21		西瀬橋	A	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	2.2	0.00
22		坂本橋	A	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	2.6	-0.02
23		横石	A	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	2.6	0.00
24	川辺川	藤田	AA	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	1.1	0.02
25		川辺大橋	A	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	1.3	0.02
26	氷川	白岩戸	A	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	1.0	-0.01
27		立神峽	A	Ⅱ	—	—	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	2.0	-0.03
28	佐敷川	柵橋	A	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	2.9	-0.02
29	湯浦川	広瀬橋	A	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	2.9	-0.01
30	水俣川	長野橋	A	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	2.3	-0.05
31	教良木川	倉江橋	A	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	2.9	0.02
32	亀川	海老宇土橋	A	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	2.3	0.02
33		草積橋	A	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	2.8	-0.01
34	広瀬川	法泉寺橋	A	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	3.0	0.01
35	一町田川	一町田橋	A	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	2.9	0.01
評価別地点数			Ⅰ	6	8	9	6	5	9	8	7	7	10	6	6	8	10	8	12	10	7	12	8	9	5		
			Ⅱ	6	5	3	11	11	7	7	9	5	8	7	6	6	8	7	3	11	9	10	12	9	10		
			Ⅲ	21	20	20	17	15	16	18	18	22	17	19	22	20	17	20	20	14	19	13	15	17	20		
			Ⅳ	1	0	2	0	4	2	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			Ⅴ	1	1	0	1	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

—:欠測

川の水環境調査記録用紙

No. 1

川の水環境調査記録用紙

No. 2

調査河川名	筑後川 (水系)		
調査地点名	杖立		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名	参加人数		
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成23年10月27日	調査時間	16:10
調査日天候	晴	気温	15.8℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 (2) 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	(1) 森林 2. 畑・水田 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 1.5 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水のにおい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	14.9℃	pH (バックテスト)	7.8
透視度	>100 cm	COD (バックテスト)	2 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	(早瀬) 平瀬
f. 石の状態	(1) 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	(1) すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	(1) なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 附着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 附着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.0 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類	○				
	2.	ナガレトビケラ類	○				
	3.	ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4.	チラカゲロウ					
	5.	携帯性トビケラ類	○				
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7.	ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8.	ウスムシ類(プラナリア)		○			
	9.	ヘビトンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	10.	マダラカゲロウ類		○			
	11.	タニガワカゲロウ類	●				
	12.	ブユ類・ガガンボ類	○				
	13.	カワニナ					
	14.	ヒラタドROMシ			○		
多少不快な水環境 (IV)	15.	コカゲロウ類			○		
	16.	コガタシマトビケラ			○		
	17.	ユスリカ類(白・緑)			○		
	18.	貝類					
	19.	サホコカゲロウ					
不快な水環境 (V)	20.	ミズムシ(等脚目)					
	21.	ヒル類					
	22.	サカマキガイ					
	23.	イトミミズ類					
得点の集計	出現した種の数(○+●)		6	5	4		
	最も多い種の数(●)			1			
	得点の合計		6	6	4		
底生動物による川の水環境評価の判定		II. 親しめる水環境					

調査河川名	関川 (水系)		
調査地点名	杉本橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名	参加人数		
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成23年11月14日	調査時間	11:30
調査日天候	晴れ	気温	20.5℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 (3) 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 (2) 畑・水田 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水のにおい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	15.5℃	pH (バックテスト)	8.0
透視度	>100 cm	COD (バックテスト)	3 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	(早瀬) 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 (3) 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか (3) メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし (2) 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 附着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 附着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.8 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類	○				
	2.	ナガレトビケラ類	○				
	3.	ヒゲナガカワトビケラ					
	4.	チラカゲロウ					
	5.	携帯性トビケラ類					
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7.	ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8.	ウスムシ類(プラナリア)					
	9.	ヘビトンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	10.	マダラカゲロウ類					
	11.	タニガワカゲロウ類		○			
	12.	ブユ類・ガガンボ類		○			
	13.	カワニナ					
	14.	ヒラタドROMシ			○		
多少不快な水環境 (IV)	15.	コカゲロウ類			○		
	16.	コガタシマトビケラ			●		
	17.	ユスリカ類(白・緑)					
	18.	貝類					○
	19.	サホコカゲロウ					
不快な水環境 (V)	20.	ミズムシ(等脚目)					
	21.	ヒル類					
	22.	サカマキガイ					
	23.	イトミミズ類					
得点の集計	出現した種の数(○+●)		2	2	3	1	
	最も多い種の数(●)				1		
	得点の合計		2	2	4	1	
底生動物による川の水環境評価の判定		III. 不快を感じない水環境					

川の水環境調査記録用紙

No. 3

川の水環境調査記録用紙

No. 4

調査河川名	関川 (水系)		
調査地点名	助丸橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名	参加人数		
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成23年10月31日	調査時間	10:55
調査日天候	晴	気温	20.7℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	<input checked="" type="radio"/> 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	<input checked="" type="radio"/> 2. 畑・水田	3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B)/2 = 2.5 点			

2. 水質を調べる

a. 水の色	1. 無色 <input checked="" type="radio"/> 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相(淡茶色)		
b. 水におい	<input checked="" type="radio"/> 1. 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	18.5℃	pH (バックテスト)	7.4
透視度	36.0 cm	COD (バックテスト)	4 mg/L
c. 透視度	1. 80cm以上 2. 60cm以上 <input checked="" type="radio"/> 3. 60cm未満		
d. pH	<input checked="" type="radio"/> 1. 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	<input checked="" type="radio"/> 1. 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.6 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	<input checked="" type="radio"/> 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 <input checked="" type="radio"/> 3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン <input checked="" type="radio"/> 3. みかん	
h. 堆積物の種類	1. なし <input checked="" type="radio"/> 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)	
i. 附着藻類色	<input checked="" type="radio"/> 1. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色	
j. 附着藻類量	<input checked="" type="radio"/> 1. 少ない 2. 多い 3. マット状	
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 2.0 点		

4. 底生生物を調べる

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類	<input type="radio"/>				
	2.	ナガレトビケラ類	<input type="radio"/>				
	3.	ヒゲナガカワトビケラ					
	4.	チラカゲロウ					
	5.	携帯性トビケラ類	<input type="radio"/>				
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7.	ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8.	ウスムシ類(プラナリア)					
	9.	ヘビトンボ類					
	10.	マダラカゲロウ類		<input type="radio"/>			
	11.	タニガワカゲロウ類		<input type="radio"/>			
	12.	ブユ類・ガガンボ類		<input type="radio"/>			
不快な水環境 (III)	13.	カワニナ			<input type="radio"/>		
	14.	ヒラタドROMシ			<input type="radio"/>		
	15.	コカゲロウ類			<input type="radio"/>		
	16.	コガタシマトビケラ			<input type="radio"/>		
	17.	ユスリカ類(白・緑)			<input checked="" type="radio"/>		
多少不快な水環境 (IV)	18.	貝類					
	19.	サホコカゲロウ					
	20.	ミズムシ(等脚目)					
	21.	ヒル類				<input type="radio"/>	
	22.	サカマキガイ					
不快な水環境 (V)	23.	イトミミズ類					
	24.	セスジユスリカ(赤)					
	25.	ホンショウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(O+●)	3	3	5	1	
	得点の集計	最も多い種の数(●)			1		
得点の集計	得点の合計	3	3	6	1		
底生動物による川の水環境評価の判定		III. 不快を感じない水環境					

調査河川名	菊池川 (水系)		
調査地点名	念仏橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名	参加人数		
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成23年10月27日	調査時間	14:00
調査日天候	晴	気温	21.2℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	<input checked="" type="radio"/> 1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	<input checked="" type="radio"/> 1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B)/2 = 1.0 点			

2. 水質を調べる

a. 水の色	<input checked="" type="radio"/> 1. 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	<input checked="" type="radio"/> 1. 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	14.4℃	pH (バックテスト)	7.5
透視度	>100 cm	COD (バックテスト)	1 mg/L
c. 透視度	<input checked="" type="radio"/> 1. 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	<input checked="" type="radio"/> 1. 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	<input checked="" type="radio"/> 1. 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	<input checked="" type="radio"/> 早瀬	平瀬
f. 石の状態	<input checked="" type="radio"/> 1. 浮き石 3. 沈み石	
g. 石の大きさ	<input checked="" type="radio"/> 1. すいか 2. メロン 3. みかん	
h. 堆積物の種類	<input checked="" type="radio"/> 1. なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)	
i. 附着藻類色	<input checked="" type="radio"/> 1. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色	
j. 附着藻類量	<input checked="" type="radio"/> 1. 少ない 2. 多い 3. マット状	
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 1.0 点		

4. 底生生物を調べる

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類	<input type="radio"/>				
	2.	ナガレトビケラ類	<input type="radio"/>				
	3.	ヒゲナガカワトビケラ	<input type="radio"/>				
	4.	チラカゲロウ					
	5.	携帯性トビケラ類	<input type="radio"/>				
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ	<input type="radio"/>				
	7.	ヒラタカゲロウ類	<input type="radio"/>				
親しめる水環境 (II)	8.	ウスムシ類(プラナリア)					
	9.	ヘビトンボ類		<input type="radio"/>			
	10.	マダラカゲロウ類		<input type="radio"/>			
	11.	タニガワカゲロウ類		<input type="radio"/>			
	12.	ブユ類・ガガンボ類		<input type="radio"/>			
不快な水環境 (III)	13.	カワニナ			<input type="radio"/>		
	14.	ヒラタドROMシ			<input type="radio"/>		
	15.	コカゲロウ類			<input checked="" type="radio"/>		
	16.	コガタシマトビケラ			<input type="radio"/>		
	17.	ユスリカ類(白・緑)			<input type="radio"/>		
多少不快な水環境 (IV)	18.	貝類					
	19.	サホコカゲロウ					
	20.	ミズムシ(等脚目)					
	21.	ヒル類					
	22.	サカマキガイ					
不快な水環境 (V)	23.	イトミミズ類					
	24.	セスジユスリカ(赤)					
	25.	ホンショウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(O+●)	6	4	5		
	得点の集計	最も多い種の数(●)			1		
得点の集計	得点の合計	6	4	6			
底生動物による川の水環境評価の判定		II. 親しめる水環境					

川の水環境調査記録用紙

No. 5

川の水環境調査記録用紙

No. 6

調査河川名	菊池川 (水系)		
調査地点名	木庭橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名	参加人数		
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成23年10月27日	調査時間	13:25
調査日天候	晴	気温	18.8℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 (2) 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 (2) 畑・水田 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B)/2 = 2.0 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	14.8℃	pH (バックテスト)	7.5
透視度	>100 cm	COD (バックテスト)	2 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 () 平瀬 ()
f. 石の状態	(1) 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	(1) すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし (2) 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 附着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 附着藻類量	1. 少ない (2) 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 1.4 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類	○				
	2.	ナガレトビケラ類	○				
	3.	ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4.	チラカゲロウ					
	5.	携帯性トビケラ類	○				
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7.	ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8.	ウスムシ類(プラナリア)		○			
	9.	ヘビトンボ類					
	10.	マダラカゲロウ類		○			
	11.	タニガワカゲロウ類		○			
	12.	ブユ類・ガガンボ類		○			
不快な水環境 (III)	13.	カワニナ					
	14.	ヒラタドROMシ			○		
	15.	コカゲロウ類			●		
	16.	コガタシマトビケラ			○		
	17.	ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18.	貝類					
	19.	サホコカゲロウ					
	20.	ミズムシ(等脚目)					
	21.	ヒル類					
不快な水環境 (V)	22.	サカマキガイ					
	23.	イトミミズ類					
	24.	セスジユスリカ(赤)					
	25.	ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	6	4	4			
最も多い種の数(●)			1				
得点の合計		6	4	5			
底生動物による川の水環境評価の判定	I. 快適な水環境						

調査河川名	菊池川 (水系)		
調査地点名	中富		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名	参加人数		
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成23年10月27日	調査時間	11:35
調査日天候	晴	気温	21.1℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 (3) 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 (2) 畑・水田 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B)/2 = 2.5 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	17.8℃	pH (バックテスト)	7.5
透視度	>100 cm	COD (バックテスト)	3 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 () 平瀬 ()
f. 石の状態	(1) 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン (3) みかん
h. 堆積物の種類	1. なし (2) 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 附着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 附着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 1.6 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類	○				
	2.	ナガレトビケラ類	○				
	3.	ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4.	チラカゲロウ					
	5.	携帯性トビケラ類	○				
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7.	ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8.	ウスムシ類(プラナリア)		○			
	9.	ヘビトンボ類					
	10.	マダラカゲロウ類		○			
	11.	タニガワカゲロウ類		○			
	12.	ブユ類・ガガンボ類		○			
不快な水環境 (III)	13.	カワニナ					
	14.	ヒラタドROMシ			○		
	15.	コカゲロウ類			○		
	16.	コガタシマトビケラ			●		
	17.	ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18.	貝類					
	19.	サホコカゲロウ					○
	20.	ミズムシ(等脚目)					
	21.	ヒル類					
不快な水環境 (V)	22.	サカマキガイ					
	23.	イトミミズ類					
	24.	セスジユスリカ(赤)					
	25.	ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	5	4	4	1		
最も多い種の数(●)			1				
得点の合計		5	4	5	1		
底生動物による川の水環境評価の判定	II. 親しめる水環境						

川の水環境調査記録用紙

No. 7

川の水環境調査記録用紙

No. 8

調査河川名	菊池川 (水系)		
調査地点名	白石		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名	参加人数		
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成23年10月31日	調査時間	12:10
調査日天候	晴れ	気温	26.5℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	(3) 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	(2) 畑・水田	3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B)/2 = 2.5 点			

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
色相(淡茶色)			
b. 水のにおい	(1) 無臭	3. 臭いあり	
臭い()			
水温	19.5℃	pH (バックテスト)	7.5
透視度	47 cm	COD(バックテスト)	0~5 mg/L
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	(3) 60cm未満
d. pH	(1) 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	(1) 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.4 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 (平瀬)
f. 石の状態	1. 浮き石 (3) 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロ (3) みかん
h. 堆積物の種類	1. なし (2) 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 (2) 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 2.2 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類	○				
	2.	ナガレトビケラ類	○				
	3.	ヒゲナガカワトビケラ					
	4.	チラカゲロウ					
	5.	携帯性トビケラ類	○				
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7.	ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8.	ウスムシ類(プラナリア)					
	9.	ヘビトンボ類					
	10.	マダラカゲロウ類		○			
	11.	タニガワカゲロウ類		○			
	12.	ブユ類・ガガンボ類		○			
	13.	カワニナ					
	14.	ヒラタドROMシ					
不快を感じない水環境 (III)	15.	コカゲロウ類			○		
	16.	コガタシマトビケラ			●		
	17.	ユスリカ類(白・緑)			○		
	18.	貝類					○
	19.	サホコカゲロウ					
	20.	ミズムシ(等脚目)					
	21.	ヒル類					
不快な水環境 (IV)	22.	サカマキガイ					
	23.	イトミミズ類					
	24.	セスジユスリカ(赤)					
	25.	ホンショウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	3	3	3	1	
	最も多い種の数(●)			1			
	得点の合計	3	3	4	1		
底生動物による		III. 不快を感じない水環境					
川の水環境評価の判定							

調査河川名	迫間川 (水系 菊池川)		
調査地点名	高田橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名	参加人数		
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成23年10月27日	調査時間	12:10
調査日天候	晴	気温	20.7℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	(3) 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	(2) 畑・水田	3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B)/2 = 2.5 点			

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
色相()			
b. 水のにおい	(1) 無臭	3. 臭いあり	
臭い()			
水温	16.8℃	pH (バックテスト)	7.5
透視度	>100 cm	COD(バックテスト)	3 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	(1) 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	(1) 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 (平瀬)
f. 石の状態	1. 浮き石 (3) 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロ (3) みかん
h. 堆積物の種類	1. なし (2) 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 2.0 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類	○				
	2.	ナガレトビケラ類					
	3.	ヒゲナガカワトビケラ					
	4.	チラカゲロウ					
	5.	携帯性トビケラ類					
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7.	ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8.	ウスムシ類(プラナリア)					
	9.	ヘビトンボ類					
	10.	マダラカゲロウ類		○			
	11.	タニガワカゲロウ類		○			
	12.	ブユ類・ガガンボ類		○			
	13.	カワニナ					
	14.	ヒラタドROMシ			○		
不快を感じない水環境 (III)	15.	コカゲロウ類			●		
	16.	コガタシマトビケラ			○		
	17.	ユスリカ類(白・緑)			○		
	18.	貝類					
	19.	サホコカゲロウ					
	20.	ミズムシ(等脚目)					
	21.	ヒル類					
不快な水環境 (IV)	22.	サカマキガイ					
	23.	イトミミズ類					
	24.	セスジユスリカ(赤)					
	25.	ホンショウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	2	3	4		
	最も多い種の数(●)			1			
	得点の合計	2	3	5			
底生動物による		III. 不快を感じない水環境					
川の水環境評価の判定							

川の水環境調査記録用紙

No. 9

川の水環境調査記録用紙

No. 10

調査河川名	合志川 (水系 菊池川)		
調査地点名	芦原		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名	参加人数		
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成23年10月27日	調査時間	11:05
調査日天候	晴	気温	21.5℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	② 畑・水田	3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B)/2 = 2.5 点			

2. 水質を調べる

a. 水の色	① 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相(淡黄色)		
b. 水におい	① 無臭 3. 臭いあり 臭い(微こけ臭)		
水温	18.8℃	pH (パクテスト)	7.8
透視度	> 100 cm	COD (パクテスト)	4 mg/L
c. 透視度	① 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	① 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	① 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 ③ 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 ③ 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン ③ みかん
h. 堆積物の種類	1. なし ② 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 附着藻類色	① 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 附着藻類量	① 少ない 2. 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 2.0 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類					
	2.	ナガレトビケラ類					
	3.	ヒゲナガカワトビケラ					
	4.	チラカゲロウ					
	5.	携帯性トビケラ類					
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7.	ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8.	ウスムシ類(プラナリア)					
	9.	ヘビトンボ類					
	10.	マダラカゲロウ類					
	11.	タニガワカゲロウ類		○			
	12.	ブユ類・ガガンボ類		○			
不快な水環境 (III)	13.	カワニナ					
	14.	ヒラタドROMシ					
	15.	コカゲロウ類			●		
	16.	コガタシマトビケラ			○		
	17.	ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18.	貝類					○
	19.	サホコカゲロウ					○
	20.	ミズムシ(等脚目)					○
	21.	ヒル類					
	22.	サカマキガイ					
不快な水環境 (V)	23.	イトミミズ類					
	24.	セスジユスリカ(赤)					
	25.	ホンショウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	2	3			
	最も多い種の数(●)		1				
	得点の合計	2	4				
底生動物による川の水環境評価の判定		III. 不快を感じない水環境					

調査河川名	坪井川 (水系)		
調査地点名	堀川合流前		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名	参加人数		
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成23年10月31日	調査時間	13:40
調査日天候	晴れ	気温	27.5℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	③ 市街地
1. 評価基礎点 (A+B)/2 = 3.0 点			

2. 水質を調べる

a. 水の色	① 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	① 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	21.0℃	pH (パクテスト)	7.5
透視度	68 cm	COD (パクテスト)	0~5 mg/L
c. 透視度	1. 80cm以上 ② 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	① 6.5~8.5 ③ 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	① 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.2 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 ③ 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 ③ 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン ③ みかん
h. 堆積物の種類	1. なし ② 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 附着藻類色	① 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 附着藻類量	① 少ない ② 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 2.2 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類					
	2.	ナガレトビケラ類					
	3.	ヒゲナガカワトビケラ					
	4.	チラカゲロウ					
	5.	携帯性トビケラ類					
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7.	ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8.	ウスムシ類(プラナリア)					
	9.	ヘビトンボ類					
	10.	マダラカゲロウ類					
	11.	タニガワカゲロウ類					
	12.	ブユ類・ガガンボ類		○			
不快な水環境 (III)	13.	カワニナ					
	14.	ヒラタドROMシ			○		
	15.	コカゲロウ類			○		
	16.	コガタシマトビケラ			○		
	17.	ユスリカ類(白・緑)			●		
多少不快な水環境 (IV)	18.	貝類					○
	19.	サホコカゲロウ					○
	20.	ミズムシ(等脚目)					○
	21.	ヒル類					
	22.	サカマキガイ					
不快な水環境 (V)	23.	イトミミズ類					
	24.	セスジユスリカ(赤)					
	25.	ホンショウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)		1	4	3	
	最も多い種の数(●)			1			
	得点の合計		1	5	3		
底生動物による川の水環境評価の判定		III. 不快を感じない水環境					

川の水環境調査記録用紙

No. 11

川の水環境調査記録用紙

No. 12

調査河川名	堀川 (水系 坪井川)		
調査地点名	坪井川合流前		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名	参加人数		
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成23年10月31日	調査時間	13:55
調査日天候	晴れ	気温	27.5℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	(3) 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	(3) 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 3.0 点			

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	20.5℃	pH (バックテスト)	8.0
透視度	51 cm	COD (バックテスト)	0~5 mg/L
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	(3) 60cm未満
d. pH	(1) 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.4 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 (平瀬)
f. 石の状態	1. 浮き石 (3) 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン (3) みかん
h. 堆積物の種類	1. なし (2) 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない (2) 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.2 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類					
	2.	ナガレトビケラ類					
	3.	ヒゲナガカワトビケラ					
	4.	チラカゲロウ					
	5.	携帯性トビケラ類					
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7.	ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8.	ウズムシ類(プラナリア)					
	9.	ヘビトンボ類					
	10.	マダラカゲロウ類					
	11.	タニガワカゲロウ類					
	12.	ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13.	カワニナ					
	14.	ヒラタドROMシ					
	15.	コカゲロウ類			●		
	16.	コガタシマトビケラ			○		
	17.	ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18.	貝類					
	19.	サホコカゲロウ					
	20.	ミズムシ(等脚目)				○	
	21.	ヒル類					○
	22.	サカマキガイ					○
不快な水環境 (V)	23.	イトミミズ類					○
	24.	セスジユスリカ(赤)					
	25.	ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)		3	1	2	
	得点の集計	最も多い種の数(●)		1			
得点の集計	得点の合計		4	1	2		
底生動物による川の水環境評価の判定		III. 不快を感じない水環境					

調査河川名	井芹川 (水系 坪井川)		
調査地点名	山王橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名	参加人数		
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成23年10月31日	調査時間	14:40
調査日天候	晴	気温	23.5℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	(3) 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	(3) 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 3.0 点			

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	21.2℃	pH (バックテスト)	8.0
透視度	93.5 cm	COD (バックテスト)	4 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	(1) 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 (平瀬)
f. 石の状態	1. 浮き石 (3) 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン (3) みかん
h. 堆積物の種類	1. なし (2) 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない (2) 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.2 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類					
	2.	ナガレトビケラ類					
	3.	ヒゲナガカワトビケラ					
	4.	チラカゲロウ					
	5.	携帯性トビケラ類					
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7.	ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8.	ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9.	ヘビトンボ類					
	10.	マダラカゲロウ類					
	11.	タニガワカゲロウ類					
	12.	ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13.	カワニナ					
	14.	ヒラタドROMシ					
	15.	コカゲロウ類			○		
	16.	コガタシマトビケラ			●		
	17.	ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18.	貝類					
	19.	サホコカゲロウ					
	20.	ミズムシ(等脚目)				○	
	21.	ヒル類					○
	22.	サカマキガイ					○
不快な水環境 (V)	23.	イトミミズ類					○
	24.	セスジユスリカ(赤)					
	25.	ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)		2	3	2	1
	得点の集計	最も多い種の数(●)			1		
得点の集計	得点の合計		2	4	2	1	
底生動物による川の水環境評価の判定		III. 不快を感じない水環境					

川の水環境調査記録用紙

No. 13

川の水環境調査記録用紙

No. 14

調査河川名	白川 (水系)		
調査地点名	妙見橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名	参加人数		
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成23年10月28日	調査時間	10:50
調査日天候	くもり	気温	20.1 °C

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 (2) 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 (2) 畑・水田 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B)/2 = 2.0 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水のにおい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	16.2 °C	pH (バックテスト)	7.5
透視度	> 100 cm	COD (バックテスト)	3 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 (2) 平瀬
f. 石の状態	(1) 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか (2) メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	(1) なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 1.2 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類					
	2.	ナガレトビケラ類	○				
	3.	ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4.	チラカゲロウ					
	5.	携巢性トビケラ類	○				
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7.	ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8.	ウスムシ類(プラナリア)		○			
	9.	ヘビトンボ類					
	10.	マダラカゲロウ類		○			
	11.	タニガワカゲロウ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	12.	ブユ類・ガガンボ類		○			
	13.	カワニナ					
	14.	ヒラタドROMシ					
	15.	コカゲロウ類			●		
	16.	コガタシマトビケラ			○		
	17.	ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18.	貝類					
	19.	サホコカゲロウ					
	20.	ミズムシ(等脚目)					
	21.	ヒル類					
	22.	サカマキガイ					
	23.	イトミミズ類					
	24.	セスジユスリカ(赤)					
	25.	ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)		5	4	3		
	最も多い種の数(●)				1		
得点の合計			5	4	4		
底生動物による川の水環境評価の判定		I. 快適な水環境					

調査河川名	白川 (水系)		
調査地点名	吉原橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名	参加人数		
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成23年10月28日	調査時間	12:05
調査日天候	くもり	気温	20.4 °C

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 (3) 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 (2) 畑・水田 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B)/2 = 2.5 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水のにおい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	16.0 °C	pH (バックテスト)	8.0
透視度	> 100 cm	COD (バックテスト)	4 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 (2) 平瀬
f. 石の状態	(1) 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか (2) メロン (3) みかん
h. 堆積物の種類	1. なし (2) 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 1.6 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類	○				
	2.	ナガレトビケラ類	○				
	3.	ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4.	チラカゲロウ					
	5.	携巢性トビケラ類					
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7.	ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8.	ウスムシ類(プラナリア)		○			
	9.	ヘビトンボ類					
	10.	マダラカゲロウ類		○			
	11.	タニガワカゲロウ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	12.	ブユ類・ガガンボ類		○			
	13.	カワニナ					
	14.	ヒラタドROMシ					
	15.	コカゲロウ類			○		
	16.	コガタシマトビケラ			●		
	17.	ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18.	貝類					
	19.	サホコカゲロウ					
	20.	ミズムシ(等脚目)					○
	21.	ヒル類					
	22.	サカマキガイ					
	23.	イトミミズ類					
	24.	セスジユスリカ(赤)					
	25.	ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)		4	4	3	1	
	最も多い種の数(●)				1		
得点の合計			4	4	4	1	
底生動物による川の水環境評価の判定		III. 不快を感じない水環境					

川の水環境調査記録用紙

No. 15

川の水環境調査記録用紙

No. 16

調査河川名	黒川 (水系 白川)		
調査地点名	小嵐山堰		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名	参加人数		
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成23年10月28日	調査時間	9:40
調査日天候	くもり	気温	15.2℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 (2) 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	(1) 森林 2. 畑・水田 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B)/2 = 1.5 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水のにおい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	14.8℃	pH (バックテスト)	7.7
透視度	>100 cm	COD (バックテスト)	2 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 (平瀬)
f. 石の状態	(1) 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン (3) みかん
h. 堆積物の種類	(1) なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 附着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 附着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 1.4 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類					
	2.	ナガレトビケラ類					
	3.	ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4.	チラカゲロウ					
	5.	携帯性トビケラ類	○				
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7.	ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8.	ウスムシ類(プラナリア)		○			
	9.	ヘビトンボ類		○			
	10.	マダラカゲロウ類		○			
	11.	タニガワカゲロウ類		○			
	12.	ブユ類・ガガンボ類		○			
不快な水環境 (III)	13.	カワニナ			○		
	14.	ヒラタドROMシ					
	15.	コカゲロウ類			●		
	16.	コガタシマトビケラ			○		
	17.	ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18.	貝類					
	19.	サホコカゲロウ					
	20.	ミズムシ(等脚目)				○	
	21.	ヒル類					
不快な水環境 (V)	22.	サカマキガイ					
	23.	イトミミズ類					○
	24.	セスジユスリカ(赤)					
	25.	ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)		4	5	4	1	1
	最も多い種の数(●)				1		
	得点の合計		4	5	5	1	1
底生動物による川の水環境評価の判定		II. 親しめる水環境					

調査河川名	緑川 (水系)		
調査地点名	津留橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名	参加人数		
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成23年10月14日	調査時間	10:35
調査日天候	くもり	気温	19.8℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	(1) 渓流域 2. 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	(1) 森林 2. 畑・水田 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B)/2 = 1.0 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水のにおい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	16.4℃	pH (バックテスト)	8.0
透視度	>100 cm	COD (バックテスト)	2 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 (平瀬)
f. 石の状態	(1) 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	(1) すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	(1) なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 附着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 附着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 1.0 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類	○				
	2.	ナガレトビケラ類	○				
	3.	ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4.	チラカゲロウ	○				
	5.	携帯性トビケラ類					
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7.	ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8.	ウスムシ類(プラナリア)					
	9.	ヘビトンボ類		○			
	10.	マダラカゲロウ類		○			
	11.	タニガワカゲロウ類		○			
	12.	ブユ類・ガガンボ類		○			
不快な水環境 (III)	13.	カワニナ					
	14.	ヒラタドROMシ					
	15.	コカゲロウ類			●		
	16.	コガタシマトビケラ			○		
	17.	ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18.	貝類					
	19.	サホコカゲロウ					
	20.	ミズムシ(等脚目)					
	21.	ヒル類					
不快な水環境 (V)	22.	サカマキガイ					
	23.	イトミミズ類					
	24.	セスジユスリカ(赤)					
	25.	ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)		5	4	3		
	最も多い種の数(●)				1		
	得点の合計		5	4	4		
底生動物による川の水環境評価の判定		I. 快適な水環境					

川の水環境調査記録用紙

No. 17

川の水環境調査記録用紙

No. 18

調査河川名	緑川 (水系)		
調査地点名	乙女橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名	参加人数		
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成23年10月14日	調査時間	11:50
調査日天候	雨	気温	21.5℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	② 畑・水田	3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B)/2 = 2.5 点			

2. 水質を調べる

a. 水の色	① 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水のにおい	① 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	19.2℃	pH (バックテスト)	7.8
透視度	> 100 cm	COD (バックテスト)	2 mg/L
c. 透視度	① 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	① 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	① 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	① 平瀬
f. 石の状態	① 浮き石 3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか ② メロン 3. みかん	
h. 堆積物の種類	1. なし ② 砂泥 3. 泥(腐敗)	
i. 付着藻類色	① 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色	
j. 付着藻類量	① 少ない 2. 多い 3. マット状	
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 1.4 点		

4. 底生生物を調べる

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類	○				
	2.	ナガレトビケラ類	○				
	3.	ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4.	チラカゲロウ					
	5.	携帯性トビケラ類					
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7.	ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8.	ウスムシ類(プラナリア)					
	9.	ヘビトンボ類		○			
	10.	マダラカゲロウ類		○			
	11.	タニガワカゲロウ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	12.	ブユ類・ガガンボ類		○			
	13.	カワニナ					
	14.	ヒラタドROMシ					
	15.	コカゲロウ類			●		
	16.	コガタシマトビケラ			○		
	17.	ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18.	貝類					
	19.	サホコカゲロウ					
	20.	ミズムシ(等脚目)					
	21.	ヒル類					
	22.	サカマキガイ					
	23.	イトミミズ類					
	24.	セスジユスリカ(赤)					
	25.	ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	4	4	3			
	最も多い種の数(●)			1			
	得点の合計	4	4	4			
底生動物による川の水環境評価の判定		III. 不快を感じない水環境					

調査河川名	御船川 (水系 緑川)		
調査地点名	五庵橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名	参加人数		
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成23年10月14日	調査時間	13:00
調査日天候	雨	気温	21.5℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	③ 市街地
1. 評価基礎点 (A+B)/2 = 3.0 点			

2. 水質を調べる

a. 水の色	① 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水のにおい	① 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	19.7℃	pH (バックテスト)	7.5
透視度	76 cm	COD (バックテスト)	4 mg/L
c. 透視度	1. 80cm以上 ② 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	① 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	① 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.2 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	① 平瀬
f. 石の状態	① 浮き石 3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン ③ みかん	
h. 堆積物の種類	① なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)	
i. 付着藻類色	① 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色	
j. 付着藻類量	① 少ない 2. 多い 3. マット状	
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 1.4 点		

4. 底生生物を調べる

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類	○				
	2.	ナガレトビケラ類	○				
	3.	ヒゲナガカワトビケラ					
	4.	チラカゲロウ					
	5.	携帯性トビケラ類					
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7.	ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8.	ウスムシ類(プラナリア)					
	9.	ヘビトンボ類					
	10.	マダラカゲロウ類		○			
	11.	タニガワカゲロウ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	12.	ブユ類・ガガンボ類		○			
	13.	カワニナ					
	14.	ヒラタドROMシ			○		
	15.	コカゲロウ類			●		
	16.	コガタシマトビケラ			○		
	17.	ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18.	貝類					
	19.	サホコカゲロウ					
	20.	ミズムシ(等脚目)					
	21.	ヒル類					
	22.	サカマキガイ					
	23.	イトミミズ類					
	24.	セスジユスリカ(赤)					
	25.	ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	3	3	4			
	最も多い種の数(●)			1			
	得点の合計	3	3	5			
底生動物による川の水環境評価の判定		III. 不快を感じない水環境					

川の水環境調査記録用紙

No. 19

川の水環境調査記録用紙

No. 20

調査河川名	球磨川 (水系)		
調査地点名	古屋敷		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名	参加人数		
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成23年10月24日	調査時間	14:05
調査日天候	晴れ	気温	23.3℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	① 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	① 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 1.0 点			

2. 水質を調べる

a. 水の色	① 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水のにおい	① 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	18.5℃	pH (バックテスト)	7.2
透視度	> 100 cm	COD (バックテスト)	2 mg/L
c. 透視度	① 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	① 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	① 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬
f. 石の状態	① 浮き石 3. 沈み石	
g. 石の大きさ	① すいか 2. メロン 3. みかん	
h. 堆積物の種類	① なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)	
i. 付着藻類色	① 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色	
j. 付着藻類量	① 少ない 2. 多い 3. マット状	
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.0 点		

4. 底生生物を調べる

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類	○				
	2.	ナガレトビケラ類	○				
	3.	ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4.	チラカゲロウ					
	5.	携帯性トビケラ類	○				
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7.	ヒラタカゲロウ類	●				
親しめる水環境 (II)	8.	ウズムシ類(プラナリア)					
	9.	ヘビトンボ類		○			
	10.	マダラカゲロウ類		○			
	11.	タニガワカゲロウ類		○			
	12.	ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13.	カワニナ					
	14.	ヒラタドROMシ					
	15.	コカゲロウ類			○		
	16.	コガタシマトビケラ			○		
	17.	ユスリカ類(白・緑)					
多少不快な水環境 (IV)	18.	貝類					
	19.	サホコカゲロウ					
	20.	ミズムシ(等脚目)					
	21.	ヒル類					
	22.	サカマキガイ					
不快な水環境 (V)	23.	イトミミズ類					
	24.	セスジユスリカ(赤)					
	25.	ホンショウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	6	4	2		
	最も多い種の数(●)	1					
	得点の合計	7	4	2			
底生動物による川の水環境評価の判定		I. 快適な水環境					

調査河川名	球磨川 (水系)		
調査地点名	中鶴橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名	参加人数		
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成23年10月24日	調査時間	15:00
調査日天候	晴	気温	23.6℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	② 畑・水田	3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点			

2. 水質を調べる

a. 水の色	① 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水のにおい	① 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	21.3℃	pH (バックテスト)	7.2
透視度	> 100 cm	COD (バックテスト)	4 mg/L
c. 透視度	① 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	① 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	① 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石	③ 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン	③ みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色	
j. 付着藻類量	① 少ない 2. 多い 3. マット状	
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.0 点		

4. 底生生物を調べる

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類					
	2.	ナガレトビケラ類					
	3.	ヒゲナガカワトビケラ					
	4.	チラカゲロウ					
	5.	携帯性トビケラ類					
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7.	ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8.	ウズムシ類(プラナリア)					
	9.	ヘビトンボ類					
	10.	マダラカゲロウ類					
	11.	タニガワカゲロウ類					
	12.	ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13.	カワニナ					
	14.	ヒラタドROMシ					
	15.	コカゲロウ類					
	16.	コガタシマトビケラ			○		
	17.	ユスリカ類(白・緑)					●
多少不快な水環境 (IV)	18.	貝類					
	19.	サホコカゲロウ					
	20.	ミズムシ(等脚目)					
	21.	ヒル類					
	22.	サカマキガイ					
不快な水環境 (V)	23.	イトミミズ類					
	24.	セスジユスリカ(赤)					
	25.	ホンショウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)			2		
	最も多い種の数(●)			1			
	得点の合計			3			
底生動物による川の水環境評価の判定		III. 不快を感じない水環境					

川の水環境調査記録用紙

No. 21

川の水環境調査記録用紙

No. 22

調査河川名	球磨川 (水系)		
調査地点名	西瀬橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名	参加人数		
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成23年10月24日	調査時間	16:30
調査日天候	晴	気温	21.2℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	(3) 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	(3) 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 3.0 点			

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	20.4℃	pH (バックテスト)	8.0
透視度	> 100 cm	COD (バックテスト)	4 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	(平瀬)
f. 石の状態	(1) 浮き石 3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン (3) みかん	
h. 堆積物の種類	(1) なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)	
i. 附着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色	
j. 附着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状	
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.4 点		

4. 底生生物を調べる

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類	○				
	2.	ナガレトビケラ類	○				
	3.	ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4.	チラカゲロウ					
	5.	携帯性トビケラ類					
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7.	ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8.	ウズムシ類(プラナリア)					
	9.	ヘビトンボ類					
	10.	マダラカゲロウ類		○			
	11.	タニガワカゲロウ類		○			
	12.	ブユ類・ガガンボ類		○			
	13.	カワニナ					
	14.	ヒラタドROMシ			○		
不快を感じない水環境 (III)	15.	コカゲロウ類			●		
	16.	コガタシマトビケラ			○		
	17.	ユスリカ類(白・緑)			○		
	18.	貝類					
	19.	サホコカゲロウ					
	20.	ミズムシ(等脚目)					
	21.	ヒル類					
不快な水環境 (IV)	22.	サカマキガイ					
	23.	イトミミズ類					
	24.	セスジユスリカ(赤)					
	25.	ホンショウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	4	3	4		
	最も多い種の数(●)			1			
	得点の合計	4	3	5			
底生動物による		III. 不快を感じない水環境					
川の水環境評価の判定							

調査河川名	球磨川 (水系)		
調査地点名	坂本橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名	参加人数		
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成23年10月24日	調査時間	11:05
調査日天候	晴れ	気温	24.0℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	(2) 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	(1) 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 1.5 点			

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	20.3℃	pH (バックテスト)	7.6
透視度	> 100 cm	COD (バックテスト)	4 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬
f. 石の状態	(1) 浮き石 3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか (2) メロン 3. みかん	
h. 堆積物の種類	(1) なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)	
i. 附着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色	
j. 附着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状	
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.2 点		

4. 底生生物を調べる

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類	○				
	2.	ナガレトビケラ類					
	3.	ヒゲナガカワトビケラ					
	4.	チラカゲロウ					
	5.	携帯性トビケラ類					
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7.	ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8.	ウズムシ類(プラナリア)					
	9.	ヘビトンボ類					
	10.	マダラカゲロウ類		○			
	11.	タニガワカゲロウ類		○			
	12.	ブユ類・ガガンボ類		○			
	13.	カワニナ					
	14.	ヒラタドROMシ			○		
不快を感じない水環境 (III)	15.	コカゲロウ類			●		
	16.	コガタシマトビケラ			○		
	17.	ユスリカ類(白・緑)			○		
	18.	貝類					
	19.	サホコカゲロウ					
	20.	ミズムシ(等脚目)					
	21.	ヒル類					
不快な水環境 (IV)	22.	サカマキガイ					
	23.	イトミミズ類					
	24.	セスジユスリカ(赤)					
	25.	ホンショウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	2	3	4		
	最も多い種の数(●)			1			
	得点の合計	2	3	5			
底生動物による		III. 不快を感じない水環境					
川の水環境評価の判定							

川の水環境調査記録用紙

No. 23

川の水環境調査記録用紙

No. 24

調査河川名	球磨川 (水系)		
調査地点名	横石		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名	参加人数		
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成23年10月24日	調査時間	10:20
調査日天候	晴	気温	24.1℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 () B. 平地流域
B. 川の背景	() 1. 森林 2. 畑・水田 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B)/2 = 2.0 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	() 1. 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相 (微茶色)		
b. 水におい	() 1. 無臭 3. 臭いあり 臭い ()		
水温	21.5℃	pH (バックテスト)	7.8
透視度	94 cm	COD (バックテスト)	4 mg/L
c. 透視度	() 1. 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	() 1. 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	() 1. 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 () 平瀬 ()
f. 石の状態	1. 浮き石 () 3. 沈み石 ()
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン () 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし () 2. 砂泥 () 3. 泥(腐敗)
i. 附着藻類色	() 1. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 附着藻類量	1. 少ない () 2. 多い () 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 2.2 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類	○				
	2.	ナガレトビケラ類					
	3.	ヒゲナガカワトビケラ					
	4.	チラカゲロウ					
	5.	携巢性トビケラ類					
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7.	ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8.	ウスムシ類(プラナリア)					
	9.	ヘビトンボ類					
	10.	マダラカゲロウ類					
	11.	タニガワカゲロウ類		●			
	12.	ブユ類・ガガンボ類		○			
不快な水環境 (III)	13.	カワニナ					
	14.	ヒラタドROMシ			○		
	15.	コカゲロウ類			○		
	16.	コガタシマトビケラ					
	17.	ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18.	貝類					
	19.	サホコカゲロウ					
	20.	ミズムシ(等脚目)					
	21.	ヒル類					
	22.	サカマキガイ					
不快な水環境 (V)	23.	イトミミズ類					
	24.	セスジユスリカ(赤)					
	25.	ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	1	2	3			
	最も多い種の数(●)		1				
得点の合計		1	3	3			
底生動物による川の水環境評価の判定		II. 親しめる水環境					

調査河川名	川辺川 (水系 球磨川)		
調査地点名	藤田		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名	参加人数		
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成23年10月25日	調査時間	9:25
調査日天候	くもり	気温	17.4℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	() 1. 渓流域 2. 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	() 1. 森林 2. 畑・水田 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B)/2 = 1.0 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	() 1. 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相 ()		
b. 水におい	() 1. 無臭 3. 臭いあり 臭い ()		
水温	16.4℃	pH (バックテスト)	8.0
透視度	> 100 cm	COD (バックテスト)	1 mg/L
c. 透視度	() 1. 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	() 1. 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	() 1. 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 () 平瀬 ()
f. 石の状態	() 1. 浮き石 3. 沈み石 ()
g. 石の大きさ	() 1. すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	() 1. なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 附着藻類色	() 1. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 附着藻類量	() 1. 少ない 2. 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 1.0 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類	○				
	2.	ナガレトビケラ類	○				
	3.	ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4.	チラカゲロウ					
	5.	携巢性トビケラ類					
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7.	ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8.	ウスムシ類(プラナリア)					
	9.	ヘビトンボ類		○			
	10.	マダラカゲロウ類					
	11.	タニガワカゲロウ類		○			
	12.	ブユ類・ガガンボ類		○			
不快な水環境 (III)	13.	カワニナ					
	14.	ヒラタドROMシ					
	15.	コカゲロウ類			●		
	16.	コガタシマトビケラ				○	
	17.	ユスリカ類(白・緑)				○	
多少不快な水環境 (IV)	18.	貝類					
	19.	サホコカゲロウ					
	20.	ミズムシ(等脚目)					
	21.	ヒル類					
	22.	サカマキガイ					
不快な水環境 (V)	23.	イトミミズ類					
	24.	セスジユスリカ(赤)					
	25.	ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	4	3	3			
	最も多い種の数(●)			1			
得点の合計		4	3	4			
底生動物による川の水環境評価の判定		II. 親しめる水環境					

川の水環境調査記録用紙

No. 25

川の水環境調査記録用紙

No. 26

調査河川名	川辺川 (水系 球磨川)		
調査地点名	川辺大橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名	参加人数		
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成23年10月25日	調査時間	8:30
調査日天候	くもり	気温	17.7℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 (2) 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 (2) 畑・水田 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B)/2 = 2.0 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水のにおい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	16.6℃	pH (バックテスト)	7.9
透視度	> 100 cm	COD (バックテスト)	3 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 (2) 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 (3) 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン (3) みかん
h. 堆積物の種類	1. なし (2) 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 附着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 附着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 2.0 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類	○				
	2.	ナガレトビケラ類					
	3.	ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4.	チラカゲロウ					
	5.	携帯性トビケラ類					
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7.	ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8.	ウズムシ類(プラナリア)					
	9.	ヘビトンボ類					
	10.	マダラカゲロウ類		○			
	11.	タニガワカゲロウ類		○			
	12.	ブユ類・ガガンボ類		●			
不快な水環境 (III)	13.	カワニナ					
	14.	ヒラタドROMシ			○		
	15.	コカゲロウ類			○		
	16.	コガタシマトビケラ			○		
	17.	ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18.	貝類					
	19.	サホコカゲロウ					
	20.	ミズムシ(等脚目)					
	21.	ヒル類					
	22.	サカマキガイ					
不快な水環境 (V)	23.	イトミミズ類					
	24.	セスジユスリカ(赤)					
	25.	ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	3	3	4		
	最も多い種の数(●)		1				
	得点の合計	3	4	4			
底生動物による川の水環境評価の判定		II. 親しめる水環境					

調査河川名	氷川 (水系)		
調査地点名	白岩戸		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名	参加人数		
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成23年10月25日	調査時間	11:55
調査日天候	くもり	気温	18.6℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	(1) 渓流域 2. 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	(1) 森林 2. 畑・水田 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B)/2 = 1.0 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水のにおい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	16.7℃	pH (バックテスト)	7.8
透視度	> 100 cm	COD (バックテスト)	4 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 (2) 平瀬
f. 石の状態	(1) 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか (2) メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし (2) 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 附着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 附着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 1.4 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類	○				
	2.	ナガレトビケラ類	○				
	3.	ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4.	チラカゲロウ					
	5.	携帯性トビケラ類					
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7.	ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8.	ウズムシ類(プラナリア)					
	9.	ヘビトンボ類		○			
	10.	マダラカゲロウ類		○			
	11.	タニガワカゲロウ類		○			
	12.	ブユ類・ガガンボ類		○			
不快な水環境 (III)	13.	カワニナ					
	14.	ヒラタドROMシ			○		
	15.	コカゲロウ類			●		
	16.	コガタシマトビケラ			○		
	17.	ユスリカ類(白・緑)					
多少不快な水環境 (IV)	18.	貝類					
	19.	サホコカゲロウ					
	20.	ミズムシ(等脚目)					
	21.	ヒル類					
	22.	サカマキガイ					
不快な水環境 (V)	23.	イトミミズ類					
	24.	セスジユスリカ(赤)					
	25.	ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	5	4	3		
	最も多い種の数(●)			1			
	得点の合計	5	4	4			
底生動物による川の水環境評価の判定		I. 快適な水環境					

川の水環境調査記録用紙

No. 27

川の水環境調査記録用紙

No. 28

調査河川名	氷川 (水系)		
調査地点名	立神峡		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名	参加人数		
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成23年10月25日	調査時間	11:00
調査日天候	くもり	気温	19.6℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	① 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	① 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B)/2 = 1.0 点			

2. 水質を調べる

a. 水の色	① 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水のにおい	① 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	18.2℃	pH (バックテスト)	8.0
透視度	>100 cm	COD(バックテスト)	4 mg/L
c. 透視度	① 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	① 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	① 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬
f. 石の状態	① 浮き石 3. 沈み石	
g. 石の大きさ	① すいか 2. メロン 3. みかん	
h. 堆積物の種類	① なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)	
i. 附着藻類色	① 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色	
j. 附着藻類量	① 少ない 2. 多い 3. マット状	
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 1.0 点		

4. 底生生物を調べる

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類	○				
	2.	ナガレトビケラ類					
	3.	ヒゲナガカワトビケラ					
	4.	チラカゲロウ					
	5.	携帯性トビケラ類					
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7.	ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8.	ウスムシ類(プラナリア)		○			
	9.	ヘビトンボ類		○			
	10.	マダラカゲロウ類		○			
	11.	タニガワカゲロウ類		●			
	12.	ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13.	カワニナ					
	14.	ヒラタドROMシ			○		
	15.	コカゲロウ類			○		
	16.	コガタシマトビケラ			○		
	17.	ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18.	貝類					
	19.	サホコカゲロウ				○	
	20.	ミズムシ(等脚目)					
	21.	ヒル類					
不快な水環境 (V)	22.	サカマキガイ					
	23.	イトミミズ類					
	24.	セスジユスリカ(赤)					
	25.	ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)		2	5	4	1	
	最も多い種の数(●)			1			
	得点の合計		2	6	4	1	
底生動物による川の水環境評価の判定		II. 親しめる水環境					

調査河川名	佐敷川 (水系)		
調査地点名	柵橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名	参加人数		
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成23年10月21日	調査時間	10:35
調査日天候	くもり	気温	25.2℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	② 畑・水田	3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B)/2 = 2.5 点			

2. 水質を調べる

a. 水の色	① 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水のにおい	① 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	20.3℃	pH (バックテスト)	8.4
透視度	>100 cm	COD(バックテスト)	3 mg/L
c. 透視度	① 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	① 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	① 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬
f. 石の状態	① 浮き石 3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン ③ みかん	
h. 堆積物の種類	① なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)	
i. 附着藻類色	① 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色	
j. 附着藻類量	① 少ない 2. 多い 3. マット状	
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 1.4 点		

4. 底生生物を調べる

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類	○				
	2.	ナガレトビケラ類					
	3.	ヒゲナガカワトビケラ					
	4.	チラカゲロウ					
	5.	携帯性トビケラ類					
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7.	ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8.	ウスムシ類(プラナリア)					
	9.	ヘビトンボ類					
	10.	マダラカゲロウ類					
	11.	タニガワカゲロウ類		○			
	12.	ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13.	カワニナ					
	14.	ヒラタドROMシ			○		
	15.	コカゲロウ類			○		
	16.	コガタシマトビケラ					
	17.	ユスリカ類(白・緑)				●	
多少不快な水環境 (IV)	18.	貝類					
	19.	サホコカゲロウ					
	20.	ミズムシ(等脚目)					
	21.	ヒル類					
不快な水環境 (V)	22.	サカマキガイ					
	23.	イトミミズ類					○
	24.	セスジユスリカ(赤)					
	25.	ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)		2	1	3		1
	最も多い種の数(●)				1		
	得点の合計		2	1	4		1
底生動物による川の水環境評価の判定		III. 不快を感じない水環境					

川の水環境調査記録用紙

No. 29

川の水環境調査記録用紙

No. 30

調査河川名	湯の浦川 (水系)		
調査地点名	広瀬橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名	参加人数		
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成23年10月21日	調査時間	11:10
調査日天候	くもり	気温	23.7℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	(3) 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	(2) 畑・水田	3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点			

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水のにおい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	20.8℃	pH (バックテスト)	8.5
透視度	> 100 cm	COD (バックテスト)	3 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬
f. 石の状態	(1) 浮き石 3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか (2) メロン 3. みかん	
h. 堆積物の種類	1. なし (2) 砂泥 3. 泥(腐敗)	
i. 附着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色	
j. 附着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状	
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.4 点		

4. 底生生物を調べる

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類	○				
	2.	ナガレトビケラ類					
	3.	ヒゲナガカワトビケラ					
	4.	チラカゲロウ					
	5.	携帯性トビケラ類					
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7.	ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8.	ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9.	ヘビトンボ類					
	10.	マダラカゲロウ類		○			
	11.	タニガワカゲロウ類		○			
	12.	ブユ類・ガガンボ類					
不快な水環境 (III)	13.	カワニナ					
	14.	ヒラタドROMシ					
	15.	コカゲロウ類			●		
	16.	コガタシマトビケラ			○		
	17.	ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18.	貝類					○
	19.	サホコカゲロウ					
	20.	ミズムシ(等脚目)					
	21.	ヒル類					
不快な水環境 (V)	22.	サカマキガイ					
	23.	イトミミズ類					
	24.	セスジユスリカ(赤)					
	25.	ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)		2	3	3	1	
	最も多い種の数(●)				1		
	得点の合計		2	3	4	1	
底生動物による川の水環境評価の判定		III. 不快を感じない水環境					

調査河川名	水俣川 (水系)		
調査地点名	長野橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名	参加人数		
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成23年10月21日	調査時間	11:50
調査日天候	くもり	気温	24.0℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	(3) 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	(2) 畑・水田	3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点			

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水のにおい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	19.6℃	pH (バックテスト)	7.5
透視度	> 100 cm	COD (バックテスト)	3 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬
f. 石の状態	(1) 浮き石 3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか (2) メロン 3. みかん	
h. 堆積物の種類	(1) なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)	
i. 附着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色	
j. 附着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状	
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.2 点		

4. 底生生物を調べる

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類	○				
	2.	ナガレトビケラ類					
	3.	ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4.	チラカゲロウ					
	5.	携帯性トビケラ類					
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7.	ヒラタカゲロウ類	●				
親しめる水環境 (II)	8.	ウズムシ類(プラナリア)					
	9.	ヘビトンボ類					
	10.	マダラカゲロウ類		○			
	11.	タニガワカゲロウ類		○			
	12.	ブユ類・ガガンボ類		○			
不快な水環境 (III)	13.	カワニナ					
	14.	ヒラタドROMシ				○	
	15.	コカゲロウ類				○	
	16.	コガタシマトビケラ				○	
	17.	ユスリカ類(白・緑)				○	
多少不快な水環境 (IV)	18.	貝類					
	19.	サホコカゲロウ					○
	20.	ミズムシ(等脚目)					
	21.	ヒル類					
不快な水環境 (V)	22.	サカマキガイ					
	23.	イトミミズ類					
	24.	セスジユスリカ(赤)					
	25.	ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)		3	3	4	1	
	最も多い種の数(●)		1				
	得点の合計		4	3	4	1	
底生動物による川の水環境評価の判定		II. 親しめる水環境					

川の水環境調査記録用紙

No. 31

川の水環境調査記録用紙

No. 32

調査河川名	教良木川 (水系)		
調査地点名	倉江橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名	参加人数		
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成23年11月2日	調査時間	10:10
調査日天候	くもり	気温	20.1℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 (2) 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	(1) 森林 2. 畑・水田 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 1.5 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	1. 無色 (2) 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水のにおい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	18.3℃	pH (バックテスト)	7.5
透視度	> 100 cm	COD (バックテスト)	< 5 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.2 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 (2) 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 (3) 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン (3) みかん
h. 堆積物の種類	1. なし (2) 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 附着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 附着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.0 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類					
	2.	ナガレトビケラ類	○				
	3.	ヒゲナガカワトビケラ					
	4.	チラカゲロウ					
	5.	携帯性トビケラ類					
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7.	ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8.	ウスムシ類(プラナリア)					
	9.	ヘビトンボ類					
	10.	マダラカゲロウ類					
	11.	タニガワカゲロウ類		○			
	12.	ブユ類・ガガンボ類					
	13.	カワニナ					
	14.	ヒラタドROMシ			○		
不快な水環境 (III)	15.	コカゲロウ類			○		
	16.	コガタシマトビケラ			○		
	17.	ユスリカ類(白・緑)			○		
	18.	貝類					●
	19.	サホコカゲロウ					
	20.	ミズムシ(等脚目)					
	21.	ヒル類					
多少不快な水環境 (IV)	22.	サカマキガイ					
	23.	イトミミズ類					
	24.	セスジユスリカ(赤)					
	25.	ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	1	1	4	1	
	最も多い種の数(●)				1		
	得点の合計	1	1	4	2		
底生動物による川の水環境評価の判定			III. 不快を感じない水環境				

調査河川名	亀川 (水系)		
調査地点名	海老宇土橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名	参加人数		
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成23年11月2日	調査時間	12:50
調査日天候	雨	気温	18.0℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 (2) 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	(1) 森林 2. 畑・水田 3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 1.5 点	

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水のにおい	(1) 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	16.6℃	pH (バックテスト)	7.0
透視度	> 100 cm	COD (バックテスト)	< 5 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 (2) 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 (3) 沈み石
g. 石の大きさ	(1) すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	(1) なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 附着藻類色	1. 茶緑色 (2) 緑色 3. 白灰黒色
j. 附着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.6 点	

4. 底生生物を調べる

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類	○				
	2.	ナガレトビケラ類					
	3.	ヒゲナガカワトビケラ					
	4.	チラカゲロウ					
	5.	携帯性トビケラ類					
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7.	ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8.	ウスムシ類(プラナリア)					
	9.	ヘビトンボ類					
	10.	マダラカゲロウ類					
	11.	タニガワカゲロウ類		●			
	12.	ブユ類・ガガンボ類					
	13.	カワニナ					
	14.	ヒラタドROMシ			○		
不快な水環境 (III)	15.	コカゲロウ類			○		
	16.	コガタシマトビケラ			○		
	17.	ユスリカ類(白・緑)			○		
	18.	貝類					
	19.	サホコカゲロウ					
	20.	ミズムシ(等脚目)					
	21.	ヒル類					
多少不快な水環境 (IV)	22.	サカマキガイ					
	23.	イトミミズ類					
	24.	セスジユスリカ(赤)					
	25.	ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	1	1	4		
	最も多い種の数(●)		1				
	得点の合計	1	2	4			
底生動物による川の水環境評価の判定			III. 不快を感じない水環境				

川の水環境調査記録用紙

No. 33

川の水環境調査記録用紙

No. 34

調査河川名	亀川 (水系)		
調査地点名	草積橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名	参加人数		
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成23年11月2日	調査時間	13:15
調査日天候	雨	気温	19.8℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	(3) 平地流域
B. 川の背景	(1) 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B)/2 = 2.0 点			

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
色相()			
b. 水のにおい	(1) 無臭	3. 臭いあり	
臭い()			
水温	19.3℃	pH (バックテスト)	8.0
透視度	> 100 cm	COD (バックテスト)	5~10 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	(1) 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	(3) 5.0mg/L以上	
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.4 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	(平瀬)	
f. 石の状態	1. 浮き石	(3) 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	(2) メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	(2) 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	(2) 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	(1) 少ない	2. 多い	3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 2.0 点			

4. 底生生物を調べる

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類	○				
	2.	ナガレトビケラ類					
	3.	ヒゲナガカワトビケラ					
	4.	チラカゲロウ					
	5.	携帯性トビケラ類					
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7.	ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8.	ウスムシ類(プラナリア)		○			
	9.	ヘビトンボ類					
	10.	マダラカゲロウ類					
	11.	タニガワカゲロウ類		●			
	12.	ブユ類・ガガンボ類		○			
不快な水環境 (III)	13.	カワニナ					
	14.	ヒラタドROMシ			○		
	15.	コカゲロウ類			○		
	16.	コガタシマトビケラ			○		
	17.	ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18.	貝類					○
	19.	サホコカゲロウ					
	20.	ミズムシ(等脚目)					
	21.	ヒル類					
不快な水環境 (V)	22.	サカマキガイ					
	23.	イトミミズ類					○
	24.	セスジユスリカ(赤)					
	25.	ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)	2	3	4	1	1	
最も多い種の数(●)		1					
得点の合計		2	4	4	1	1	
底生動物による川の水環境評価の判定	II. 親しめる水環境						

調査河川名	広瀬川 (水系)		
調査地点名	法泉寺橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名	参加人数		
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成23年11月2日	調査時間	13:40
調査日天候	雨	気温	20.5℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	(3) 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	(3) 市街地
1. 評価基礎点 (A+B)/2 = 3.0 点			

2. 水質を調べる

a. 水の色	(1) 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
色相()			
b. 水のにおい	(1) 無臭	3. 臭いあり	
臭い()			
水温	18.6℃	pH (バックテスト)	8.5
透視度	> 100 cm	COD (バックテスト)	5 mg/L
c. 透視度	(1) 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	(1) 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	(3) 5.0mg/L以上	
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.4 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	(平瀬)	
f. 石の状態	1. 浮き石	(3) 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	(2) メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	(2) 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	(2) 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	(1) 少ない	2. 多い	3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 2.0 点			

4. 底生生物を調べる

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類					
	2.	ナガレトビケラ類					
	3.	ヒゲナガカワトビケラ					
	4.	チラカゲロウ					
	5.	携帯性トビケラ類					
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7.	ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8.	ウスムシ類(プラナリア)					
	9.	ヘビトンボ類					
	10.	マダラカゲロウ類		○			
	11.	タニガワカゲロウ類		○			
	12.	ブユ類・ガガンボ類					
不快な水環境 (III)	13.	カワニナ					
	14.	ヒラタドROMシ			○		
	15.	コカゲロウ類			○		
	16.	コガタシマトビケラ			●		
	17.	ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18.	貝類					
	19.	サホコカゲロウ					
	20.	ミズムシ(等脚目)					○
	21.	ヒル類					
不快な水環境 (V)	22.	サカマキガイ					
	23.	イトミミズ類					
	24.	セスジユスリカ(赤)					
	25.	ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)		2	4	1		
最も多い種の数(●)			1				
得点の合計			2	5	1		
底生動物による川の水環境評価の判定	III. 不快を感じない水環境						

川の水環境調査記録用紙

No. 35

調査河川名	一町田川 (水系)		
調査地点名	一町田橋		
調査団体名	熊本県保健環境科学研究所		
代表者名		参加人数	
連絡先住所	電話: - - ()		
調査年月日	平成23年11月2日	調査時間	12:00
調査日天候	雨	気温	20.6℃

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
1. 評価基礎点 (A+B) / 2 = 1.5 点			

2. 水質を調べる

a. 水の色	1. 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色 色相()		
b. 水におい	1. 無臭 3. 臭いあり 臭い()		
水温	18.9℃	pH (パックテスト)	7.5
透視度	>100 cm	COD (パックテスト)	< 5 mg/L
c. 透視度	1. 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	1. 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	1. 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
2. 水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
3. 川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.0 点			

4. 底生生物を調べる

階級	No.	指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1.	カワゲラ類					
	2.	ナガレトビケラ類					
	3.	ヒゲナガカワトビケラ					
	4.	チラカゲロウ					
	5.	携索性トビケラ類					
	6.	ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7.	ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8.	ウスムシ類(ブナリア)					
	9.	ヘビトンボ類					
	10.	マダラカゲロウ類					
	11.	タニガワカゲロウ類		○			
	12.	ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13.	カワニナ					
	14.	ヒラタドROMシ			○		
	15.	コカゲロウ類			●		
	16.	コガタシマトビケラ			○		
	17.	ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18.	貝類				○	
	19.	サホコカゲロウ					
	20.	ミズムシ(等脚目)					
	21.	ヒル類					
不快な水環境 (V)	22.	サカマキガイ					
	23.	イトミミズ類					
	24.	セスジユスリカ(赤)					
	25.	ホシチョウバエ					
得点の集計	出現した種の数(○+●)			1	4	1	
	最も多い種の数(●)				1		
	得点の合計			1	5	1	
底生動物による川の水環境評価の判定			III. 不快を感じない水環境				